

2010年度 韓国・釜山大学校サマープログラム (PNU Summer Korean Program) 8月9日～
8月27日

北海道教育大学 函館校 地域創生専攻 地域文化分野 9317 尾崎友香

1. はじめに

8月8日から8月28日の約3週間の間、韓国・釜山にある釜山大学校で行われた「韓国・釜山大学校サマープログラム」に参加しました。私は、大学に入り、韓国語の授業を受けて韓国に興味を持ち、韓国の文化をテレビなどだけで知るのではなく、実際に韓国に行くことで、直接、韓国の文化に触れてみたいと思い、今回の参加に応募しました。

本校からは、1名だけの参加でしたが、プログラムに参加したのは、日本人7人と中国人6人、合わせて13人でした。そして、参加者のサポートをしてくれた釜山大学校の韓国人学生バディが6人でした。

2. 授業について

授業は、月曜日から木曜日の9:00～16:00の間で行われ、月・木曜日の午後はアクティビティー、火曜日は1日中授業があり、水曜は午後の授業がなく自由に時間を使うことが出来ました。

1) 韓国語の授業

韓国語の授業は、全員が初級のクラスという形で始まったのですが、それぞれ個人のレベルに合わせるということで途中から初級・中級に分かれて韓国語を学ぶことになりました。私は、読み書き・聞き取りが出来たので、中級のクラスに移りました。中級のクラスでは、急遽行われたクラス分けだったため、バディの学生たちが交代で先生となり、授業を行う形でしたが、少人数の授業だったので、質問しやすく、楽しく韓国語を学ぶことが出来ました。中級の授業内容は、韓国語能力試験の過去問題を解いたり、K-POPの歌詞を訳したり、韓国語でゲームをしたりとさまざま内容の授業を準備してくれました。ほぼ韓国語での授業でしたが、分からないときは、英語を交えたり、辞書を使いながら会話をしました。文法の学習よりは、会話中心の授業だったので、会話能力を身につけることが出来ました。さらに、中級のクラスには、習熟度をはかるための筆記の試験が最終日にありました。初級のクラスでは、ハングルの読み書きから始まり、文法を学習していましたが、3週間という期間であったので、初級の人のお話を聞くと学習の速度が速かったようです。しかし、韓国語を勉強してきていなかった人でもある程度の会話が理解できるようになっていました。

2) アクティビティー

アクティビティーは、韓国の伝統文化に触れることの出来る授業で「韓国料理作り」「伝統舞踊」「サムノリ (伝統楽器)」「テコンドー」「韓紙小物作り」を体験しました。教えてくださる方が韓国語で説明を行っていたので、すべて理解することは出来なかったで

すが、英語での通訳があり、しかも自ら体験するものだったので、言葉が理解できなくても不自由なく韓国の伝統を感じる事が出来ました。すべて古くから伝わる韓国の文化を直接体験でき、3週間の内に5つもの韓国の伝統文化体験に触れることのできる貴重な時間を過ごすことが出来ました。



(韓国伝統料理)



(韓紙の小物入れ)

4. フィールドワーク

金曜日は、フィールドワークとして、1週間目に「海雲台(ヘウンデ)」、2週間目には、「慶州(キョンジュ)」に向かいました。海雲台へのフィールドワークは、まず、伝統的な陶磁器作りを体験し、その後、韓国の伝統家屋での韓国のフルコースの味を楽しみました。海雲台は、韓国の中でも有名な海水浴場です。この日は、天気が悪かったにもかかわらず、多くの人々が海雲台を訪れていました。海雲台では、船に乗って1時間ほどのクルージングを楽しみ、その後、2004年に韓国で行われたAPECの会議場を見学しました。

2週目で訪れた「慶州(キョンジュ)」は、韓国の古都であり、歴史のある場所です。釜山からは、バスに乗り約1時間で着くことができる場所にあります。私たちは、「国立慶州博物館」と世界遺産に登録されている「佛國寺(ブルクッサ)」を訪れました。慶州は、歴史的でとても雰囲気があり、韓国の歴史を実際に感じられる場所でした。



(海雲台)



(佛國寺)

5. 授業のない時間の過ごし方

水曜日、授業がなく各自自由に過ごすことの出来る時間でした。多くの人々が地下鉄を利用して市内観光をしていました。私は、南浦洞(ナンポドン)や西面(ソミョン)に行き、買い物や観光をしました。週末も授業がないので、各自自由に過ごしました。私は、日本人の友人2人で1週目にKTXという高速鉄道でソウルに行き、観光をしたり、2週

目には、ひとりで地下鉄に乗り、観光をするなど有意義に時間が使えました。地下鉄は、釜山市内に広がっているもので、大学の前に地下鉄の駅があるので地下鉄を利用することでいろんな場所に行くことができました。

6. 寮での生活

3週間の間、大学の校内にある寮で生活をしました。寮は、2人部屋で、私は、中国人と一緒に部屋を使いました。中国人とは、英語でお互いの国などについて話し、ついつい遅くまで話してしまうこともありました。寮の部屋は、とてもきれいで、クーラー・シャワー・トイレが設備されているので、快適に過ごすことができます。ベットや机もあり、LANケーブルを借りることで持参のパソコンの利用が可能でした。毎日の食事は、1週目は、朝昼夕と寮内にある食堂で食事をすることができました。2週目からは、食堂が休業し、利用できなくなるので、自分たちで食事をとらなければなりません。そのためのお金がかかることを考慮に入れていく必要があると思います。また、大学の正門から寮までは、徒歩で20分近くかかります。寮は、坂の上にあるので暑い中だったので、とても大変でした。

また、大学の前には、たくさんのお店が並んでいてとても賑やかでした。お土産ももちろんのこと、服や化粧品などたくさんのもものが安く売っています。カラオケや食堂も日本に比べて安い値段で行くことができるので楽しむことができました。

7. 最後に

韓国に行くのは、今回が初めてでしたが、このプログラムを通してとても貴重な体験することができました。3週間は、とても短いですが、短いからこそ、中身の濃い時間を過ごすことができました。今回、韓国語を学び、実際に会話ができるようになったことは、私にとって、とても大きな自信になりました。今後も学んだことを忘れずに韓国語をさらに学んでいきたいと思います。このプログラムに参加したいと考えている方は、「参加したい」という韓国への思いをしっかりと持ってください。この参加は、韓国人・中国人、さらに日本の他の大学の人々との交流ができ、さまざまな考えを吸収できる、自分にとってよい刺激になります。

最後になりますが、このプログラムに参加するにあたって、さまざまな協力をしてくださった方々、このプログラムに携わる全ての方々に感謝します。本当に、ありがとうございました。



(プログラム参加者全員で)